

〈年末年始の金銭事情とお金の管理に関して、東京・大阪エリアの 20 代男女ビジネスパーソンに調査〉

2015 年、お金について連想する漢字は「貯」。20 代の堅実志向の中、 デビットカード保有者は出費のためのやりくり上手

「交際相手・パートナーへのプレゼント代」では、東阪男性で 12,000 円以上の差が！

ビザ・ワールドワイド(以下 Visa、代表取締役:ジェームス・ディクソン、所在地:東京都千代田区)は、2015 年 12 月、東京・大阪エリアに勤務する 20 代の男女ビジネスパーソン 800 名を対象に、「年末年始の金銭事情とお金の管理に関する調査」を実施しました。

Visa の委託を受け、株式会社マクロミルが実施した本調査において、20 代ビジネスパーソンの年末年始の金銭事情と日常生活におけるお金の管理に関しての意識を調べたところ、次のような実態が分かりました。

- 2015年、お金について連想する漢字、東阪第1位「貯」、第2位「減」、第3位東京「楽」、大阪は「浪」に。

年末年始の出費「交際相手・パートナーへのプレゼント代」で東京、大阪の男性で12,000円以上の差が。

- デビットカード保有者は、非保有者よりプレゼント代で10,615円、デート代では2,454円多く「交際相手・パートナー」に使っていることが判明！

2015 年、自身を振り返った際、お金について連想する漢字 1 文字を伺ったところ、東京・大阪両エリアともに「貯金ができた年であった」という理由が多く占め、「貯」が第 1 位となりました。これにより、20 代のビジネスパーソンの金銭感覚は堅実志向が主流であることが判明しました。次いで、「大きな出費が増えた」という理由が挙げられ「減」が第 2 位に。東京エリアの第 3 位は「楽」、大阪エリアでは「浪」がランクイン(図 1 参照)。それぞれの理由は、「趣味などの楽しみに投資できた」(楽)、「浪費が多い年であった」(浪)でした。

そうした中、一年の締めくくりにあたり出費がかさむ時期とされる年末年始に想定される支出項目と支出想定金額を尋ねたところ、第 1 位は「同僚・友人との忘年会(58.3%・平均 12,474 円)」、次いで「交際相手・パートナーへのプレゼント代(32.1%・平均 29,692 円)」、第 3 位は、「交際相手・パートナーとのデート代(30.5%・平均 17,945 円)」という結果になりました(図 2 参照)。さらに、東京エリアと大阪エリアの男性で比較すると、「交際相手・パートナーへのプレゼント代」では、12,000 円以上の差があることが分かりました(図 3 参照)。

次に、年末年始の出費の捻出方法について最も多かったのは、「事前から貯めていたお金を使って(57.6%)」という結果に。また、デビットカードの保有者と非保有者と比較すると、デビットカード保有者が 64.0%であるのに対し、非保有者は、51.3%と 10%以上の差が見られる結果となり、年末年始の出費に対するやりくり上手な人が多いことが判明しました(図 4 参照)。さらに、「事前から貯めていたお金を使って」と回答したデビットカード保有者は非保有者より、交際相手・パートナーへのプレゼント代に 10,615 円、デート代では 2,454 円多くお金を使っていることが分かりました(図 5 参照)。

また、最もよく利用する支払い手段別(現金/クレジットカード/デビットカード)に、自身のお金の管理に対する意識を伺ったところ、デビットカードをメインの支払い手段として利用している人の約9割(89.3%)が、「何にどれくらい使用しているか(正確に、だいたい)把握している」と回答(図6参照)。また、お金を使いすぎた経験の有無を尋ねると、現金をメインの支払い手段としている人ほどお金を使いすぎた経験が多く(71.5%)、デビットカードを利用している人ほどお金を使いすぎた経験が少ない(60.7%)という結果になりました(図7参照)。デビットカードのユーザーは、他の支払い手段と比較して、普段からお金の管理に対する意識が強く、お金の使いすぎによる失敗が少ない傾向がわかりました。

さらに、デビットカードの特徴である「利用可能額は口座の預金残高の範囲内(使いすぎを心配しないで済む)」について伺ったところ、デビットカード非保有者の8割以上(82.3%)が便利だと回答する結果となりました(図8参照)。

堅実志向の20代には、口座の預金残高の範囲内で使えるデビットカードを利用することで、上手なお金の管理に役立てることができると思われます。

【図1: お金について連想する漢字について】

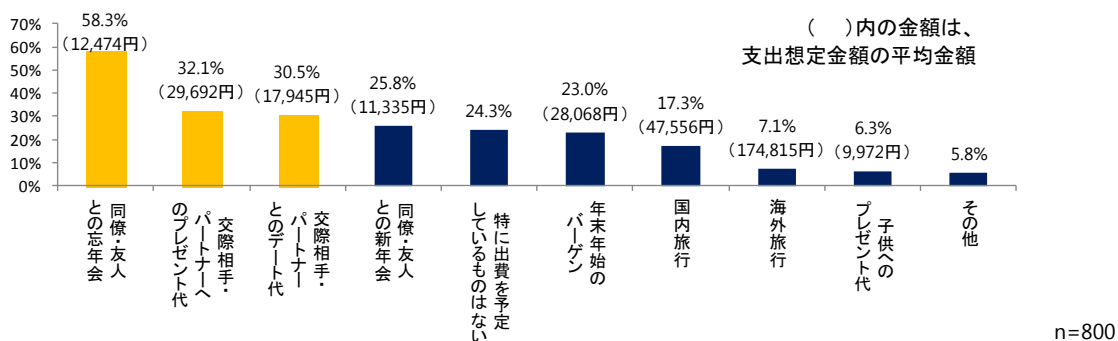
Q: 2015年のあなた自身を振り返った際、お金について連想する漢字1文字を教えてください。

	東京エリア	大阪エリア
第1位	貯(22.3%)	貯(25.3%)
第2位	減(15.8%)	減(14.0%)
第3位	楽(10.0%)	浪(10.0%)

n=800

【図2: 年末年始に想定される支出項目について】

Q: 年末年始に想定される支出項目に対して、出費が想定される場合はその(予定)金額を教えてください。

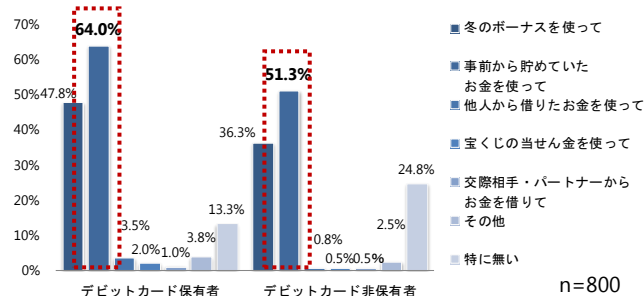


【図3: 交際相手・パートナーへのプレゼント代について】

	交際相手・パートナーへのプレゼント代
【東京エリア】男性 (n=200)	51,208円
【大阪エリア】男性 (n=200)	38,785円
差額	12,423円

【図4: 年末年始の出費の捻出方法について】

Q: 毎年、年末年始の出費をどのように捻出していますか？



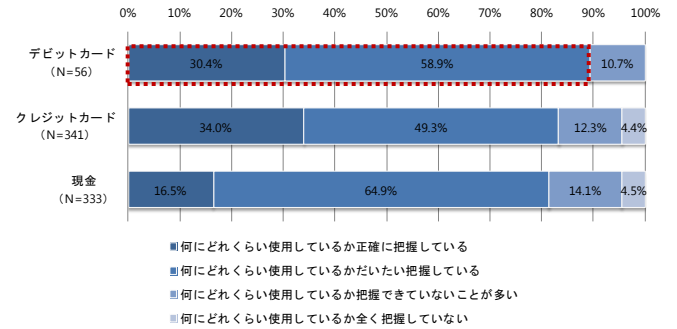
【図 5: 交際相手・パートナーへのプレゼント・デート代の比較】

「事前から貯めていたお金を使って」年末年始の支出を捻出していると回答したデビットカード保有者(265名)、デビットカード非保有者(205名)

	交際相手・パートナーへのプレゼント代	交際相手・パートナーとのデート代
デビットカード保有者 (n=256)	29,512円	18,896円
デビットカード非保有者 (n=205)	19,890円	17,435円
保有者と非保有者の差額	10,616円	2,455円

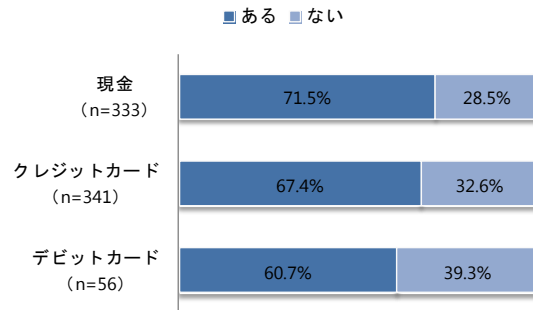
【図 6: お金の管理に対する意識について】

Q: お金の管理について、ご自身について近いと思われるものをお選びください。



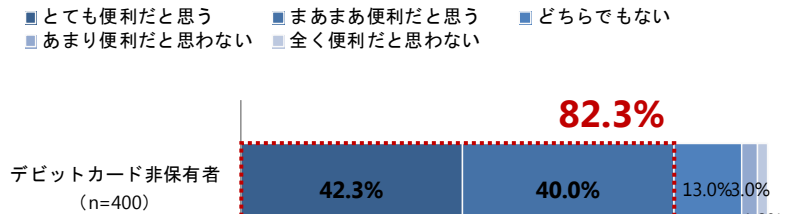
【図 7: お金を使いすぎた経験について】

Q: お金を使いすぎてしまった経験はありますか？



【図 8: デビットカードの特徴について】

Q: デビットカードの特徴である【利用可能額は口座の預金残高の範囲内(使いすぎを心配しないで済む)】について便利だと思いますか？



【調査概要】

調査実施会社：株式会社マクロミル
 調査名：年末年始の金銭事情とお金の管理について
 実査期間：2015年12月5日(土)～12月10日(木)
 調査方法：インターネット調査
 調査地域：東京エリア(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)、大阪エリア(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県)
 調査対象：20代男女ビジネスパーソン 800名

※次の条件に該当する回答者に対して調査を実施

- ①デビットカードを保有する 400名
- ②デビットカードを保有していない 400名

###

ビザ・ワールドワイドについて

ビザ・ワールドワイド(以下、Visa)は、世界規模のペイメントテクノロジーを提供する企業です。世界の 200 以上の国と地域において、迅速、安全かつ信頼のおける電子決済で消費者、企業、金融機関、政府機関を結ぶ役割を果たしています。毎秒 65,000 件を超す取引を処理できる VisaNet は世界でも最先端の情報処理ネットワークで、電子通貨の基盤であると同時に、消費者を詐欺や不正行為から守り、加盟店への確実な支払いを可能にしています。Visa の事業の特色として、カード発行、融資、会費や利息の設定を消費者に直接行わないことが挙げられます。Visa は取引先金融機関を通じて、デビットカードによる即時決済、プリペイドカードによる事前決済、クレジットカードによる事後決済といった多彩な選択肢を提供しています。詳しくは www.corporate.visa.com(英語サイト) または www.visa.co.jp(日本語サイト)をご覧ください。